

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	より一層地域に根ざすために、今後地域に貢献する活動(介護損段室に開設、介護についての説明会、余った介護機器の無料貸し出し等)が期待されます。	地域密着サービスとして、より一層地域の方に貢献できるよう、介護相談の実施を行う。	介護相談を実施していることを、地域の方々にお知らせし、気軽に利用していただく様にする。また、他にどのような事をやってほしいか意見を頂戴する。	12ヶ月
2	26	家族アンケートの結果、家族に「介護計画」のあり方について説明する必要があると思われる。また、事前に電話やFAX等で「聞きたい内容」を伝え、利用者及び家族の思いを一層適切に把握する努力が望まれます。	介護計画を作成前に、本人はもちろん、ご家族に連絡をし、家族の意向も確認する。また、計画内容についても、ひとつひとつ丁寧に説明する。	本人の意向は、日常生活での一言や行動から汲み取り、ご家族からは、面会時やお電話で確認する。加えて、医療関係者からの指示も計画の中に取り込む。	12ヶ月
3	33	利用者が終末期を迎えた時に動揺しない為にも、職員の更なる研修と、管理者と職員間での話し合いの場を増やすことが期待されます。	見取りも出来る環境を、なるべく早く整備する。	看取りの研修を行った上で、医療機関との協力体制、ホームの看護師そして介護職との連携を構築していく。	12ヶ月
4	35	首都圏大地震も心配されているので、夜間想定の実際の訓練(担当職員の連絡、近くの職員の駆けつけ、避難誘導、貴重品持出し等)が望まれます。また備蓄は、数量・内容共に検討が必要です。	避難訓練に実施・備蓄の整備はもちろん、地域との協力が取れるようする。	消防署立会いのもと避難訓練を実施し、指導頂く。また、備蓄については、3日間分の食料と水を用意する。地域との協力は、自治会長の方と相談し願います。	12ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。